

校長通信③

ありがとうございました

3月7日に喬木村福祉センターで、「すべての子どもを包み込む学びの環境とは」というテーマで特別支援学校の学びを考える県民意見交換会が開催されました。この会には、若槻養護学校・松本ろう学校・伊那養護学校の生徒職員とともに、飯田養護学校の令和5年度生徒会長・副会長と令和6年度生徒会長・副会長も参加し、「学校や社会がこんな風になったらいいなあ」という意見を発表してくれました。生徒たちからは大人の視点では気づかないような提案もあり、知事をはじめ大人たちは改めて子どもたちの視点に立つということについて考えさせられるとともに、もっと当事者である子どもたちの意見や考えを聞いて学校を運営していくことの必要性を感じました。この意見交換会が今後の特別支援学校の充実に繋がっていくよう委員としても努めていきたいと思っております。



今年度も地域の皆様から飯田養護学校に様々なご寄附をいただきました。卒業生が複数勤務している協和精工様からは心や体の学習に使う沐浴人形などの教材を、喬木村の飯田精機様からは会議用の椅子を寄贈していただきました。企業様だけでなく、個人の方からもご寄附をいただくこともあり、地域の多くの方が本校を応援してくださっていることを感じています。また、寄附をきっかけに、実習や就労につながったり、教材等に使える資材を提供していただいたりするなど、関心をもって継続的に学校に関わっていただけるようになったケースもあり、学校の応援団ができたような頼もしい気持ちです。今後は、学校も地域の一員として地域に貢献できる活動もやっていきたいと思っております。



令和3年4月に飯田養護学校に赴任し、8月から校長通信をアップしてきましたが、あまり多くの情報を発信できないまま退任の日を迎えてしまいました。ホームページをご覧ください皆様ありがとうございました。

この3年間で、自立活動を軸にした子どもたちの学びの充実、新校舎の増築などによる学びの環境の改善、先生方もやりがいを感じられるような働き方の改革、保護者や地域との連携などを進めてきましたが、どれも十分な改善には至っていないところがありますが、学校は校長や職員が替わっても引き継ぎ、さらに発展していくことができます。今後の飯田養護学校の発展を祈念し、校長通信としては最終号とさせていただきます。